

# 人吉市「ライティング防災アラートシステム」構築事業

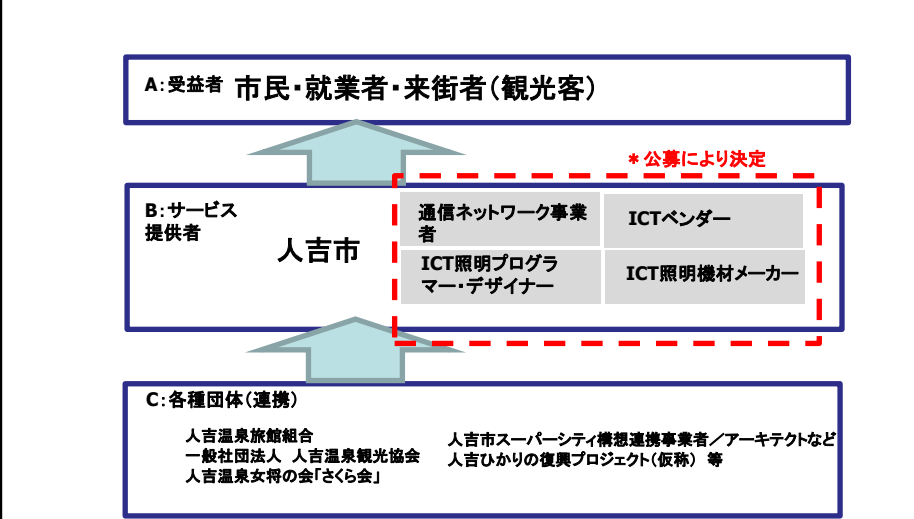
<b>実施地域</b>	熊本県人吉市	<b>実施主体</b>	人吉市
<b>事業概要</b>	<p>当市は令和2年7月豪雨の球磨川水害により甚大な被害を受け、現在まさに復興の途上である。前回の豪雨時には防災行政無線が聞こえなかったという意見が多数あり、自然災害への対策及び住民への情報発信手法の確立は急務である。</p> <p>これまでの防災行政無線（音声）やエリアメール（文字情報）による情報伝達だけでなく色彩の変化により、状況を視覚的なアプローチで伝え、多重性（リダンダンシー）を確保し、逃げ遅れゼロを目指す。</p>		

## 取組内容

- ライティング防災アラート・・・橋梁の手すりと側面に、変色可能なLED照明を実装し、緊急時には照明の色彩の変化によって避難を促す視覚的なアラートとして活用する。国や県が提供する水位データ・気象データ等を基に発令される警報等や水位センサに応じて、クラウド経由で照明機器の変色を操作することを可能とする。自動操作（水位データ）・手動操作（スマホ等）での運用を可とし、本事業において最適な運用方法を探る。  
 また、平時は表裏一体の取り組みとして、LED照明を観光コンテンツとして活用することで、全国に影響を及ぼしているコロナ禍と、多発する災害からの観光地域復興のモデルケース創造を目指す。
- 人吉市防災ポータルサイト・・・上記の防災情報を別事業として構築する「人吉市防災ポータルサイト」を活用し、市民に随時アラートする。  
 熊本県と連名で申請しているスーパーシティ型国家戦略特別区域に「HITTOYOSHI RIVERTY構想」として提案を行っており、今回のスマートシティ関連事業においては最小限のデータ連携基盤（パブリッククラウド+API）を構築し、スーパーシティ構想が採択された暁にはスーパーシティの仕様を満たすデータ連携基盤として整備する。



## 実施体制図



## システム構成図

